

No.203

8<sup>2024年</sup>月号

# いなざわ 議会だより

## | TOPICS

- 議会報告会を開催 ..... 2
- 臨時会・定例会の報告 ..... 6
- 議決結果 ..... 7
- 質疑・一般質問 ..... 8
- 9月定例会開催予定 ..... 16

稲沢市議会

検索



表紙：千代田地区のひまわり畑にて  
(昨年8月14日撮影)

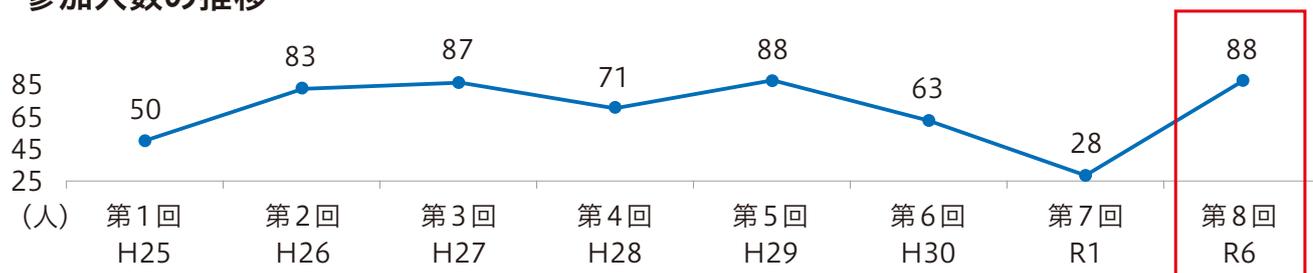
# 議会報告会を

ご参加いただいた皆様



5月25日(土)に祖父江生涯学習センター「ソブエル」と稲沢市勤労福祉会館において「議会報告会」を開催しました。商業施設でのチラシ配布(上記写真)等により皆様にご参加いただくよう呼びかけを行い、5年ぶり8回目の開催となる今回の議会報告会は、おかげさまをもちまして、多くの方々にご参加いただくことができました。ここではその議会報告会の様子をお伝えします。当日実施したアンケートの結果概要及び各常任委員会による総括につきましては、4～5ページをご覧ください。

## 参加人数の推移



←司会の黒田広報広聴委員長から開催趣旨等の説明



六鹿議長から参加いただいた皆様への感謝の言葉と挨拶→

## 第1部 報告会

常任委員会ごとにパワーポイントを用いて、3月定例会で議決した令和6年度の主な新規・拡充事業の概要及び各委員会における主な関係議案についての紹介をしました。また、11月に実施した行政視察についての概要や、得られた知見を報告しました。当日使用した資料につきましては、市議会のホームページからご覧いただけます。



→ 午前の部  
ソブエル



← 午後の部  
勤労福祉会館

## 第2部 意見交換会

各常任委員会にわかれ、それぞれの委員会で設定したテーマに沿って意見を交わしました。また、議会報告会終了後、広報広聴委員会にて、報告書を作成しました。報告書につきましては、市議会のホームページからご覧いただけます。

# 開催しました！

誠にありがとうございました



## 総務委員会

テーマ：シティプロモーションについて

### 主なご意見

- ・稲沢を盛り上げるために、サリオパークを活用してはどうでしょうか。
- ・サリオパークに至るまでの道を自転車用に整備したら、シティプロモーションになるのではないのでしょうか。
- ・住みたい街ランキングに稲沢は入っていないため、うまくいっている市町村の取り組みを取り入れるともっと良くなるのではないのでしょうか。
- ・ウルフドッグスが日本一を獲っているので、愛知県内から来てもらえるように、大々的にPRすると良いと思います。



## 文教厚生委員会

テーマ：フレイル予防について

### 主なご意見

- ・最近では高齢者が外に出て行くことのハードルが高いため、防災訓練の中にフレイル予防の講習を組み入れてはどうか。
- ・社会との繋がりを持たせるために子どもの見守りボランティアを行ってみてはどうか。
- ・ウォーキングスペースを増やしてほしいです。
- ・高齢者が活躍できる場所の提供が必要。介護認定者も受け入れてほしいです。
- ・お出かけタクシーは午前中予約が取れない。コミュニティバスの利便性をもっと向上してほしいです。



## 経済建設委員会

テーマ：災害対策について

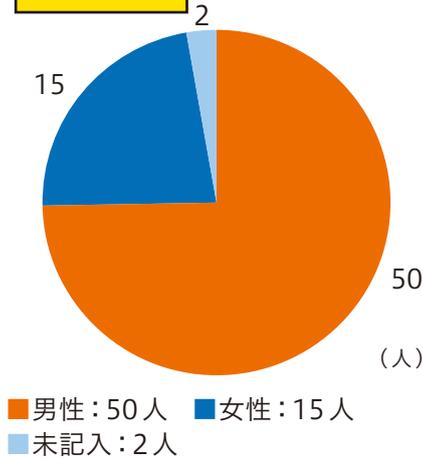
### 主なご意見



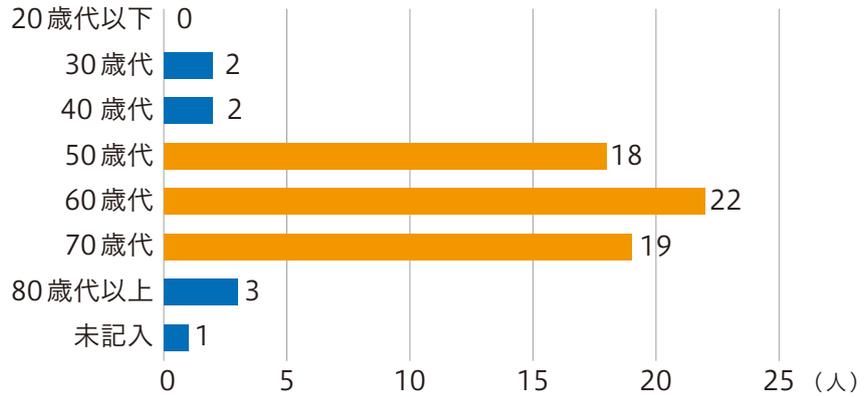
- ・災害時の備蓄について、市だけでなく、各家庭、各区でも努力していただくと災害に強い市・各区になっていくと思います。
- ・液状化を防ぐことは非常に難しいので、稲沢に家を建てた以上、地域特性を理解し、地震発生時に自分の命をどう守るのかを考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・地域住民のためだけでなく、鉄道通勤の帰宅困難者のことも考えていく必要があるのではないのでしょうか。
- ・地震で家屋や電柱が倒れると復興の妨げになるので、電柱の地中化を進められないのでしょうか。

# アンケートの結果

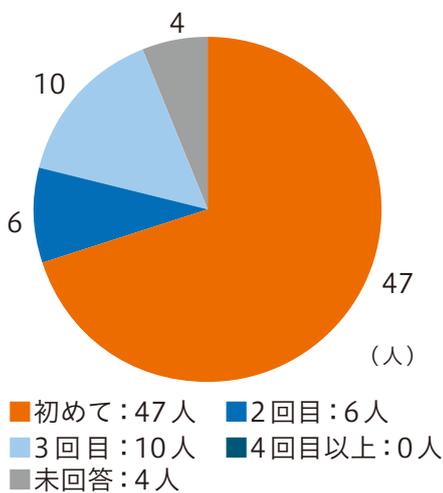
## 性別



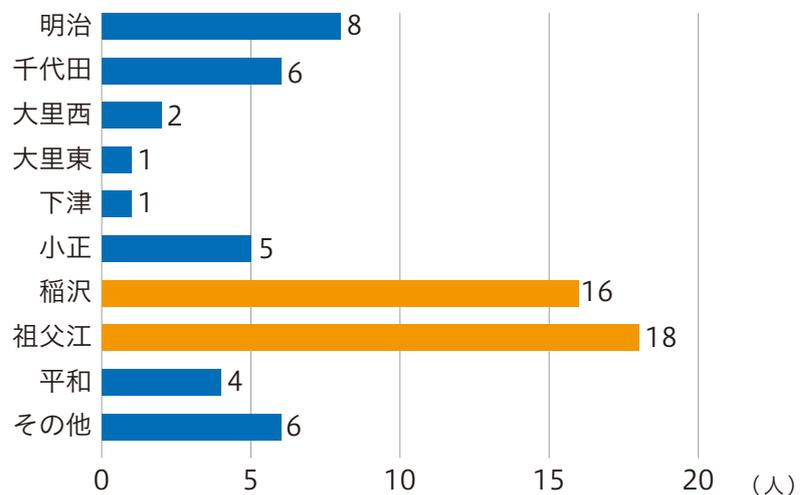
## 年齢



## 参加回数



## 住まい



参加された方の7割以上が男性で、議会報告会に初めて参加されたという方の割合も7割以上でした。年齢については、50歳代～70歳代の方が9割近くを占めていました。住まいについては、開催会場に近い稲沢地区と祖父江地区の方の参加が多いという結果になりました。

## 参加された方々の主なご意見やご感想等

### 第一部 報告会について

- ・資料報告以外の内容を詳しく知りたい。
- ・事業内容だけでなく委員会で出た意見や質疑内容があると議会活動の内容がわかると思う。
- ・議会でこのような提案をして行政が動いたという報告がほしかった。
- ・行政視察の報告だけでなく、具体的な成果はどうか等詳しいことが知りたいと思う。
- ・行政視察で得た良い点を行政に反映してほしい。

### 第二部 意見交換会について

- ・意見を聞く時間をもっと長くしてほしい。
- ・的確な回答が得られて良かったが、それを実施するようにしてほしい。
- ・他の市民の方のご意見が率直に聞けて良かった。
- ・参考になった。
- ・今後取り上げてほしいテーマ(人口減少対策、介護、災害対策など)

# 各常任委員会による「第2部 意見交換会」の総括

## 総務委員会

「シティプロモーション」に関して意見交換会の場で様々な意見をいただき、多くの市民の方が、市の魅力向上や地域発展に関心を寄せられ、「稲沢を良くしたい」との強い思いをお持ちであると改めて感じました。

ご意見の中に「シティプロモーションの目的は、定住か、それとも魅力を知ってほしいという意味か」というものがありました。稲沢市では、シティプロモーションの意義を「本市に住むことの魅力を発掘・再発見して高め、20～30代の若者をメインターゲットとし、市内外にその魅力を伝えることで、移住定住人口を増やし、市の持続的発展につなげる」としています。意義について、まだまだ浸透していないようですので、引き続き周知に努めてもらいたいと思います。

また印象深かったご意見の一つに「一宮市は人口の社会減を防ぐために職員一丸となって取り組んでいる。稲沢市も取り組んでほしい。」というものがありました。稲沢市では、今年度、有識者を招いて、職員を対象にシティプロモーションの目的や手法などをテーマに講義を行う予定であり、専門的知識の習得と横断的な連携体制の強化により、職員一丸となった効果的なPRにつながることを期待します。

その他、稲沢公園やサリオパーク祖父江、荻須記念美術館などの施設、あじさいまつりや梅まつり等の催し、またウルフドッグス名古屋などのPRについてもご提案いただきました。「人を集める地理的条件は整っている」とのご指摘もあったように発展のポテンシャルが高いまちでもあります。こういった魅力を、様々な機会や広報ツールを通して積極的にPRしていくよう望むものです。

「議員としても知恵を出して、働きかけてほしい」というお言葉もありました。我々議員も職員とともに、市の魅力の向上のために行動してまいります。

## 文教厚生委員会

まず、フレイル予防の講習会のPRの充実について意見をいただきました。現在、ホームページや広報「いなざわ」、地域包括支援センターで広報しています。広報活動の場所の増設や講座数も多いことから、案内方法に工夫するように要望しました。

また、認知症など加齢に伴う相談機関についても質問がありました。地区の地域包括支援センターが相談機関となりますので、ご活用ください。

公共交通機関への利用促進のご意見としては、認知症では運転ができないため、免許を返した方にタクシー券を配布することや、コミュニティバスの料金をもう少し安くすること、老人パスの発行を求める声がありました。さらに、お出かけタクシーは午前中予約が取りづらいことや、コミュニティバスの路線増設のご意見もいただきました。

また、高齢者の方が社会との繋がりを持つための子どもの見守りボランティア活動や防災訓練の中にフレイル予防の講習を組み込むこと、高齢者が参加できる生涯スポーツを取り入れることなどの工夫も提案をいただきました。

加えて、ウォーキングスペースの充実や高齢者ふれあいサロン、老人会への助成金の充実についてご意見をいただきました。

ご意見については、文教厚生委員会や担当課で課題として共有してまいります。

## 経済建設委員会

参加された複数の方から、「自分の命は自分で守る」という事や食料や簡易トイレなどの備蓄についても各家庭で努力すべきとの声を頂き、自助が一番大事だという意識が高まっていることに大変心強く感じました。また、稲沢市は液状化の危険が高いということも多くの人が理解されていて、ハザードマップを意識して見られていることもよくわかりました。

耐震改修や家具転倒防止器具など各種補助金について知らない市民が多いので、市からの周知はもちろんですが、議員自ら発信するようというご意見に対しましては、各議員がそれぞれの活動の中で周知・啓発に努めてまいります。

液状化や建物の倒壊で緊急輸送道路が通行できなくなると、物資など届かないことへのご心配の声や、防災訓練の在り方と防災倉庫の中身の公開、鉄道利用の帰宅困難者への対応、災害に強いまちにするための電柱の地中化については、これまでも議員から指摘や要望を行っていますが、再度経済建設委員会からも市側へ要望をしてまいります。

## 広報広聴委員長からの一言

5年ぶりの開催となりました議会報告会にお越しいただきありがとうございました。皆様からいただいたご意見やご要望を今後の議会活動に反映させ、今後のより良い報告会、議会活動に繋げてまいります。

# 会議結果の報告

4月臨時会では、市長提出議案が4件、6月定例会では、市長提出議案が17件提出されました。議決結果は7ページをご覧ください。

ここでは各会議における一般会計補正予算の主なものを紹介します。

※万円未満切り捨て

## 令和6年4月臨時会

4月9日

議案第45号 令和6年度稲沢市一般会計補正予算(第1号)…補正額14億4,750万円

### 定額減税調整給付金給付事業に係る経費の増額…11億1,500万円

定額減税を補足する給付として、定額減税しきれないと見込まれる納税義務者に調整給付金を給付します。

給付方法：対象者へ確認書を送付し、確認書の提出があった方から順次、口座へ振込。

給付対象者数：25,000人

確認書の提出期限：令和6年10月31日(木)

### 低所得者世帯臨時特別支援事業に係る経費の増額…3億3,250万円

令和6年度に新たに住民税非課税となる世帯又は均等割のみ課税となる世帯に対して、1世帯あたり10万円を給付するほか、当該世帯において扶養されている18歳以下の児童がいる場合に、児童1人あたり5万円を上乗せして給付します。

支給方法：対象世帯の世帯主へ確認書もしくは申請書を送付し、提出があった方から口座へ振込。未申告の方については、申請書を送付し、対象世帯であることを証明するものを添付し申請いただき、口座へ振込。

確認書及び申請書の提出期限：令和6年10月31日(木)

## 令和6年6月定例会

6月7日～28日

議案第60号 令和6年度稲沢市一般会計補正予算(第2号)…補正額マイナス3,386万円

(これにより一般会計予算の総額は、578億2,363万円となりました)

### 木造住宅耐震診断等の需要拡大に伴う経費の増額…1,688万円

木造住宅耐震診断業務委託…188万円  
住宅耐震改修費補助金…1,000万円  
住宅除却費補助金…500万円

### 水道事業出資金の減額…7,694万円

水道管路耐震化事業について、国の繰出基準が改正され、事業費の比較から管路更新率の比較へ変更となり、対象とならなくなったため減額します。

### 「ラーケーションの日」モデル事業の採択に伴う経費の増額…1,374万円

モデル事業採択に伴い、増加する教員業務の負担軽減を図るために配置されるスクール・サポート・スタッフ等の費用です。

「ラーケーションの日」とは…子供が保護者等とともに、平日に学校外での学習活動を実行できる日です。(年3日以内)

### 能登半島地震被災地職員長期派遣に伴う経費の増額…89万円

# 4月臨時会・6月定例会議決結果

議案番号	件名	議決結果
議案第42号	稲沢市税条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第43号	稲沢市都市計画税条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第44号	稲沢市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第45号	令和6年度稲沢市一般会計補正予算（第1号）	全会一致可決
議案第46号	稲沢市行政手続における特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律に基づく個人番号の利用及び特定個人情報情報の提供に関する条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第47号	稲沢市国民健康保険税条例の一部を改正する条例について	賛成多数可決
議案第48号	稲沢市立児童厚生施設の設置及び管理に関する条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第49号	稲沢市家庭的保育事業等の設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例について	全会一致可決
議案第50号	損害賠償の額を定めることについて	全会一致可決
議案第51号	児童発達支援センター整備工事の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第52号	明治中学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第53号	大里西小学校長寿命化工事の請負契約の締結について	全会一致可決
議案第54号	給食用食器・食缶の物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第55号	調理用備品・台類の物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第56号	普通貨物自動車の物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第57号	調理用消耗品の物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第58号	消防ポンプ自動車（CD-I型）の物品供給契約の締結について	全会一致可決
議案第59号	稲沢市道路線の認定について	全会一致可決
議案第60号	令和6年度稲沢市一般会計補正予算（第2号）	全会一致可決

議案番号	件名	議決結果
議案第61号	令和6年度稲沢市水道事業会計補正予算（第1号）	全会一致可決
報告第3号	専決処分の報告について	—
報告第4号	令和5年度稲沢市一般会計継続費繰越計算書の報告について	—
報告第5号	令和5年度稲沢市一般会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第6号	令和5年度尾張都市計画事業稲沢西土地区画整理事業特別会計繰越明許費繰越計算書の報告について	—
報告第7号	令和5年度稲沢市一般会計事故繰越繰越計算書の報告について	—
報告第8号	令和5年度稲沢市水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第9号	令和5年度稲沢市公共下水道事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第10号	令和5年度稲沢市集落排水事業会計予算繰越計算書の報告について	—
報告第11号	令和5年度稲沢市土地開発公社決算の報告について	—
報告第12号	令和6年度稲沢市土地開発公社資金計画及び予算の報告について	—
報告第13号	令和5年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業報告及び収支決算の報告について	—
報告第14号	令和6年度一般財団法人稲沢市文化振興財団事業計画及び収支予算の報告について	—
請願第1号	子育て支援の拡大を求める請願	賛成少数不採択
請願第2号	高齢者の生活支援を求める請願	賛成少数不採択
請願第3号	稲沢市のすべての小学校の存続を求める請願	賛成少数不採択
請願第4号	地域をこわす学校の統廃合に反対する請願	賛成少数不採択
同意案第3号	農業委員会委員の任命について	全会一致同意

## 賛否が分かれた議案等

議案番号	創生会										市民クラブ						公明党 稲沢市議団	日本共産党 稲沢市議団	会派に 属さない 議員							
	大野紀之	鷯野大助	土岐優子	平床健一	平野賀洋子	杉山太希	北村太郎	黒田哲生	近藤治夫	津田敏樹	服部礼美香	吉川隆之	木村喜信	六鹿順二	鈴木純子	岡野次男	志智央	木全信明	星野俊次	日比野貴子	柝本敏子	服部俊夫	曾我部博隆	小柳彩子	平野泰弘	山田崇夫
議案第46号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
議案第47号	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	—	○	○	○	○	○	○	○	●	●	○	○	○
請願第1号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
請願第2号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
請願第3号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●
請願第4号	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	●	—	●	●	●	●	●	●	●	○	○	●	●	●

※六鹿順二議員は議長のため採決に加わりません

(○は賛成、●は反対)

# 市政を問う 一般質問

一般質問とは、市の行政全般にわたり、事務の執行状況や将来の方針について所信をただしたり、あるいは報告や説明を求めたりするもので、毎年3月・6月・9月・12月に開催される定例会に限って行われます。

今定例会では、15人の議員が質疑・一般質問を行いました。ここではその質問と答弁の概要をお伝えします。

なお、各ページに掲載している二次元コードから、各議員の質疑・一般質問の録画映像をご覧ください。

## 15議員が登場

- |           |           |
|-----------|-----------|
| ・日比野貴子 議員 | ・服部俊夫 議員  |
| ・山田崇夫 議員  | ・小柳彩子 議員  |
| ・鵜野大助 議員  | ・服部礼美香 議員 |
| ・黒田哲生 議員  | ・平床健一 議員  |
| ・木全信明 議員  | ・朽本敏子 議員  |
| ・志智 央 議員  | ・曾我部博隆 議員 |
| ・北村太郎 議員  | ・岡野次男 議員  |
| ・近藤治夫 議員  |           |
- ※発言順



## 災害拠点病院 について

公明党稲沢市議団  
ひびの たかこ  
日比野 貴子 議員



**Q** 災害拠点病院の指定を受けた稲沢市民病院における具体的な運営体制は。

**A** 災害時において機動的に活動できるよう専門的な研修を受けた「災害派遣医療チーム(DMAT)」を編成。従前より24時間体制での救急対応をはじめ、医師、看護師、薬剤師などの様々な職種で構成する「災害対策委員会」を毎月1回開催し、災害時を想定した訓練の実施計画や、業務継続計画(BCP)を策定するなど、平常時から災害対応等を想定した対策を行っている。

**Q** 災害時に重症患者等を受け入れるための病院の施設整備状況は。

**A** 1階外来待合エリアに患者等を応急的に収容する床暖房を完備したスペースを確保。建物は震度7までを想定した免震構造で、屋外防災倉庫には20個の簡易ベッドを備蓄。浸水対策として、病院建物1階の床高を周辺道路から約1.5m高く建設、自家用発電機などの電気設備やボイラー設備を2階に設置。駐車場は浸透性の舗装を整備。雨水及び汚水貯水槽と排水用ポンプをそれぞれ建物地下へ設置し浸水被害を未然に防止する様々な対策を講じている。備蓄は、入院患者と職員の飲料水及び食料を5日分、患者に使用する医薬品は3日分、診療材料等も流通面で納品業者と協定を締結している。





## 非核平和事業 について

日本共産党稲沢市議団  
はっとり としお  
服部 俊夫 議員



- Q** 広島平和体験活動は、毎年実施し、参加者を広げるべきである。中学生のカナダ海外派遣やギリシャ聖火リレー派遣にどれだけの費用が必要だったか。また、広島派遣の費用はいくらか。
- A** 中学生海外派遣事業は現在休止中だが、最後に実施した令和元年度の市の負担額は約900万円。聖火リレー派遣事業は、前回の平成28年度の市負担は約900万円で、広島派遣は昨年約120万円であった。

**Q** 自衛隊募集対象者の情報提供について、昨年度から「紙リスト」の提供を行っているが、自衛隊法施行令や個人情報保護法では「できる」としているのみで、強制や義務ではない。個人情報保護の観点から問題ではないか。

**A** 全国の市町村に対しても提供を求めており、自衛隊法施行令に基づく情報提供は、国の個人情報保護委員会と同様、特段の問題を生じるものではないと考えている。

**Q** 今年度から、情報提供を希望しない方は「除外申請」ができるようになったが、あまりにも期間が短すぎる。改善を求めるが、いかがか。

**A** 除外申請の受付期間については、他の市町村の受付期間を確認したうえで、必要に応じて改善していく。



## PTA活動における 課題について

やまだ たかお  
山田 崇夫 議員



- Q** PTAは、保護者と教職者により構成される任意加入の団体である。一般的に、任意加入の場合、入会届を記入するが、本市で入会届を整備しているPTAはあるか。
- A** 昨年度の段階では、入会届を整備しているPTAはないと把握している。
- Q** 保護者の個人情報の取得は、どのような形で行われているか。
- A** PTA会長が、入学説明会（小学校では就学児健診）や入学式の際に、学校が取得する児童生徒名や保護者名、学年、学級、住所、町

名等の情報を、PTA活動で使用したい旨と目的外使用がないよう取り扱いに細心の注意を払うことについて説明し、了承いただいた後、取得している。

**Q** 学校とPTAは別組織にも関わらず、PTA会費が学校徴収金と一緒に口座振替されているのは問題ないのか。

**A** PTA会費の徴収方法については、年度初めにPTA会長が校長に対し、PTA会費と学校徴収金と一緒に徴収することを文書で依頼している。それに対して、校長は依頼内容を了承した旨の文書をPTA会長に提出している。その後、PTA会費は他の学校徴収金とともに徴収していると把握している。保護者の便宜を図るため、このようにPTA会費を徴収しているとのことだが、学校徴収金とPTA会費は別々の通帳で管理され、学校で速やかに振り分けを行っている。





## 稲沢市の外国人在住者について

こやなぎ さやこ  
小柳 彩子 議員



**Q** 現在の本市の外国人居住者は何人か。上位5か国の国別の内訳は。

**A** 令和6年5月1日現在、外国人居住者数は3,950人となり、国別で多い順に、第1位ベトナム、第2位ブラジル、第3位フィリピン、第4位中国、第5位韓国となる。

**Q** 本市の外国人の生活保護受給は何件か。

**A** 令和6年4月時点で生活保護受給状況は、519世帯・654人で、その内、外国人は23世帯・52人である。

**Q** 愛知県の不法残留滞在者は。

**A** 法務省の統計では、国全体で日本に滞在している不法残留者数は、令和6年1月1日現在79,113人と報告され、前年同期に比べ8,622人増加している。

**Q** 愛知県内の外国人の不法就労者数と職種は。

**A** 出入国在留管理庁の資料によると、令和4年の愛知県の不法就労者数は701人で職種が多い順では、建設作業者が304人、工員が105人である。



## シティプロモーションについて

創生会  
うの だいすけ  
鵜野 大助 議員



**Q** 少子高齢化により人口の減少が加速する中、自治体は企業や団体、また個人からも選ばれる必要がある。そのためのプロモーションの必要性が顕在化していると思われるが、シティプロモーションの意義と役割は何か。

**A** 全国的に人口減少社会に突入し、本市においても、名古屋駅への鉄道アクセスが良い駅を有しているにも関わらず、人口は減少している。人口減少に歯止めをかけ、他都市との競争を勝ち抜くためには、本市に「住んでみたい」と思っただけのように、本市で住むことの魅力を他の都市以上に高めて、アピールして

いくことが必要なことから、令和5年度に新たにシティプロモーション課を設置し、積極的なプロモーション事業を展開している。市の魅力を発掘・再発見して高め、市内外の多くの人にその魅力を効果的に伝えること、また、それにより移住・定住人口が増えることで、本市の持続的な発展に繋がっていくものと考えている。良好な住環境に加え、「子育て・教育は稲沢で!」をスローガンに、子育て世代や未来を担う子どもたちへの支援を進めており、子育て環境の良さも魅力の一つと考えている。





### 第6次稲沢市総合計画の 進捗状況と課題について

創生会  
はっとり れみか  
服部 礼美香 議員



**Q** 次世代のための行政改革について進捗状況と課題は。

**A** キャッシュレス決済やスマート窓口システムの導入、電子図書館の開設等、ICTを活用した市民サービスや業務効率の向上に取り組んできた。今後の課題は公共施設の再編である。少子化が劇的に進んでいる現状を踏まえ、次世代に残すべき機能を中心に検討し、民間活力の導入も進めていく必要がある。

**Q** 稲沢市の目指すまちの実現に向けて、特に力を入れている取り組みは。

**A** 子どもたちが健やかに成長するための子育て支援策を最重点施策に位置付けて、子ども家庭センターの設置、インクルーシブ保育の実施、「こども未来基金」の創設など積極的に取り組んでいる。

**Q** 人生100年時代に向けて、どのような高齢者支援が必要だと考えるか。

**A** 高齢者が住み慣れた地域で健康でいきいきとした暮らしができるよう、自由に集まり、交流することができる居場所づくりが重要である。高齢者ふれあいサロンや老人クラブ等の活動への支援の充実に努めたい。



### 稲沢市学校施設整備 基本計画について

創生会  
くろだ てつお  
黒田 哲生 議員



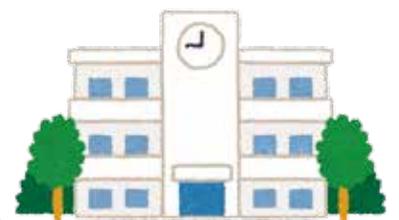
**Q** 「稲沢市学校施設整備基本計画」の計画案の策定は、主に令和5年度に取り組まれているが、現在の進捗状況はどうか。

**A** 令和5年度に有識者、保護者、校長会の代表者、まちづくり団体の代表者と市民公募委員の計12名で組織する「稲沢市学校施設整備基本計画策定委員会」を立ち上げ、令和5年6月から計6回の策定委員会を開催し、計画案について審議、検討してきた。令和6年3月の第6回策定委員会において、計画案の最終案がまとまったので、同月の定例教育委員会に議案として提出したが、教育

委員から、もう少し検討する時間が欲しいとの意見をいただいたので、その場では表決は行わず、継続審議とし、現在は教育委員による自主的な意見交換会等により議論を深めていただいているところである。

**Q** 学校再編は市長部局も含めた市全体での横断的な対応が求められる。また、教育環境以外にも地域コミュニティや避難所などオール稲沢で取り組まなければならない課題も多々ある。これらに対する市長の見解はいかがか。

**A** 市長部局も含めて市全体で横断的に取り組みを進めていくことはもちろん、保護者や地域の声にも丁寧に耳を傾けながら、学校再編という大きな事業が円滑に進むように、尽力してまいりたいと考えている。





## 広報いなざわの 配布方法について

創生会  
ひらとこ けんいち  
平床 健一 議員



**Q** 近隣市町では、あま市が平成25年4月から、津島市が平成29年5月から、蟹江町が平成30年10月から、弥富市では令和6年5月から業者によるポスティングに移行されている。こうした近隣市町のポスティングへの移行はマンションやアパートなどの増加や町内会への未加入者の出現や役員の高齢化に加え、近年の暑さなどにより配布を行うことの負担が増加していることが背景にある。行政区配布から外部委託への移行検討が必要であると考えるがどのようにお考えか。

**A** 令和6年6月現在、312行政区があり、行政区のご協力のもと、毎月広報の配布をお願いしている。行政区では、少子高齢化、定年延長などにより担い手となる人材確保が難しくなっていると相談のある行政区もあるが、当面は、現状の配布方法を維持し、地域の顔が見える関係を保っていきたいと考えている。



## ブロック塀等撤去費 交付金補助事業 について

市民クラブ  
きまた のぶあき  
木全 信明 議員



**Q** 補助金交付要綱（以下、「要綱」）には、地震によるブロック塀等の倒壊による被害や避難時等の通行の妨げとなることを防止するため、ブロック塀等の撤去費を補助することで地震に強いまちづくりを促進する目的が定められている。この要綱制定後どれ程の利用があったのか。

**A** 本制度は、20万円を上限に倒壊のおそれのあるブロック塀の撤去及び処分に要する経費の2分の1を助成するものである。2018年10月1日の要綱制定後、2023年度末までの間に130件の利用実績があった。

**Q** 要綱第4条第2項では建築基準法第42条第2項に規定する道路内に存するブロック塀等にあつては、敷地内の全てを撤去することとあるが、これは倒壊する恐れのないブロック塀に関しても撤去するのか。

**A** 現行の要綱においては、倒壊する恐れがなくても撤去する必要がある。

**Q** 倒壊する恐れがないブロック塀に関しても撤去していたら、優先すべき危ないブロック塀の解消を妨げることになる。危ないブロック塀を第一優先で解消させるため、要綱の検討を願いたい。

**A** 本市においても、倒壊のおそれのあるブロック塀を着実に減らし、地震に強いまちづくりを促進していく必要があると考えている。このため、今回の議員の提案を踏まえ、まずは他市の状況を調査・研究しながら要綱の見直しに向けた検討をしていく。





### 子どもの性被害を防ぐ アプリ「コドママ」 について

公明党稲沢市議団  
とちもと としこ  
栢本 敏子 議員



**Q** スマートフォンの普及でSNSの利用者が増えている。愛知県警によるとSNSなどを通じて子ども達に裸や下着姿などを「自撮り」させる性被害が全国的に広がっている。子どもたちを守るために愛知県警等が開発したアプリ「コドママ」は、犯罪の抑止力になり、親のスマホに検知結果が入るので、親子の対話が促進され、子どもが被害者や加害者になることを防ぐといった効果が期待されるため、「コドママ」の周知・啓発を行ってはどうかと考えるが、市の見解は。

**A** SNSによる児童生徒のトラブルは増加してきており、危機感を持って未然防止や早期対応をしていかなければならないと考えている。児童生徒を様々なトラブルや犯罪から守るためにアプリ「コドママ」を活用することは有効であると考えている。愛知県教育委員会の依頼を受けて、市内の各小中学校にアプリ「コドママ」を周知したが、これからも各種会議の場で先生方に紹介するとともに、各学校の情報モラルに関する授業やスマホ安全教室等の場を活用し、これまで以上に児童生徒や保護者への周知・啓発に努めていきたいと考えている。今後も愛知県教育委員会や警察署との連携を図りながら、児童生徒がトラブルや犯罪に巻き込まれないような環境づくりを推進していきたい。



### 稲沢消防等での ハラスメントについて

市民クラブ  
しち おう  
志智 央 議員



**Q** 稲沢消防で複数の消防職員からハラスメント等の被害の訴えがあり、防止委員会が立ち上がった。しかし、委員は消防本部の管理職と人事課職員に限定されており、「身内による調査だから甘い」などという疑義が生じかねない。第三者機関による調査が必要ではないか。

**A** 今回の訴えについては、内部の防止委員会による調査審議を経たうえで、必要があれば適切に対応したいと考えている。

**Q** 昨年7月にハラスメントに関するアンケートが消防職員向けに行われ、その時点でハラス

メントについて把握できたが、防止委員会が立ち上がったのが3月で、関係者のヒアリングが始まったのが6月6日と対応が非常に遅く、後手に回っている。このままの調査に疑問が残るが、市長の見解は。

**A** 昨年7月に実施したアンケートの回答で3人もが「死にたくなかった」を選んでいたこと、関係者へのヒアリングが6月まで実施されていなかったことは、今回、初めて知ったが、非常に重大な問題であると受け止めている。私への報告がされておらず、対応が遅れているという指摘を含め、真摯に受け止め、深くお詫び申し上げる。防止委員会の委員については、外部の専門家などを追加することも含め早急に検討していく。

ハラスメントに関する消防職員向けアンケートの概要

パワハラがあった 17件	パワハラがない 117件
被害によって「死にたくなかった」 3件	



## ジェンダー平等実現について

日本共産党稲沢市議団  
そがべ ひろたか  
曾我部 博隆 議員



**Q** 本市の会計年度任用職員（臨時または非常勤の自治体職員）に占める女性の割合は。

**A** 令和6年4月1日現在で、フルタイムは全102人中96人で94.1%、パートタイムは全803人中713人で88.8%である。

**Q** 本市の女性管理職の割合を引き上げるべきではないか。

**A** 令和6年4月1日現在、課長職以上の女性の割合は17.2%である。50歳以上の職員の中で女性の割合が36.4%と男性職員の割合が多いが、女性部長を登用するなど今後も積極的に

に努めていく。

**Q** 愛知県はファミリーシップ宣誓制度（主に同性同士のカップルが互いを人生のパートナーとして協力し合うことを宣言し、その三親等以内も家族とする制度）を導入したが、本市はいかがか。

**A** 本市では制度の導入はしていないが、県の宣誓制度を利用することはできる。今後は県の制度を活用した方への行政サービスの提供について、関係各課で協議していく。

**Q** 選択的夫婦別姓制度の導入を国に働きかけていくべきではないか。

**A** 女性の活躍推進の観点から、旧姓の通称使用が広がってきているが、選択的夫婦別姓制度については、国民の理解の上、国で判断されるものである。



## 社会教育について

創生会  
きたむら たろう  
北村 太郎 議員



**Q** 市の社会教育委員会はどのような活動をしているか。また、その活動実績等は。

**A** 社会教育委員の職務については、社会教育法第17条に規定されており、具体的には、生涯学習推進計画の策定や、毎年開催する社会教育委員会で、各課の事業計画に対し、住民の意向や地域の課題を反映させるために意見をいただいている。また、社会教育の研究調査として先進地の視察や社会教育関係団体の会議、研修会等へ参加し、活動内容の報告や情報交換などを行っている。

**Q** 生涯学習は、生活の充実において重要であると考えるが、市の考えは。

**A** 少子高齢化や人口減少、人々の価値観も多様化し、地域コミュニティの縮小や人と人とのつながりの希薄化が進んでいる世の中になっていると思う。そのような中であっても、私たち一人一人は、自ら生涯を通じて学び、考え、身に付けた知識や技能、人とのつながりを活用して、課題解決力を育み、社会の変化に対応していくことが求められている。また、他者と学び合い、認め合うことで、相互のつながりを形成していくことも必要である。今後も生涯を通して学習することの大切さを市民に啓発し、生涯学習の充実をより一層図っていくことで、市民一人一人が、生きがいを感じながら生活していけるようにしていきたいと考える。





**住宅供給の拡大による  
移住・定住促進に  
ついて**

市民クラブ  
おかの つぎお  
**岡野 次男** 議員



**Q** 近年、本市の新設住宅着工数は700戸前後、開発許可申請数は300件前後で横ばいである。本市の人口が増加していた2010年前後の新設住宅着工数は1,000戸を超えていたので、近年の住宅着工は増えていない。住宅供給を拡大するための取り組みは。

**A** 「三世代すまいる支援事業」を2022年度から開始し54件の新築実績があるため、住宅着工数が今後も増加するよう、継続的支援に努めていく。また、条例基準による許可のほか、地域コミュニティが形成されている地区における持続的な居住環境形成のための

新たな基準も、実現可能性を探求していく。

**Q** 人口が社会変動により減少しているが対策は。

**A** 総合戦略の目標値の「400人の社会増」の達成は、非常に厳しい状況である。「新たな住居系市街地の形成」に向けた取り組みを粘り強く進めていくとともに、「地区計画制度」を活用した開発等を通じ、住宅供給を拡大し移住・定住のニーズに応えていく。名古屋駅から鉄道アクセス10分圏の地理的優位性、都市的な生活と豊かな自然が融合した暮らしの豊かさをはじめとした本市の魅力を発信し、「住んでみたいまち」としてブランド形成に努め、市全体で人口減少対策に取り組んでいく。

**基本目標**  
市のポテンシャルを生かした定住を推進します。

名古屋のベッドタウン、ものづくり産業の集積地としてのポテンシャルを生かし、第2住地として選択される都市を目指します。

**数値目標** 社会増 400人 (R3~7)

- ① 市のブランドイメージ向上
- ② 名鉄国府宮駅周辺の再整備及び新たな住居系市街地の形成
- ③ 地域コミュニティの維持



**シビックプライド  
(地域への愛着・貢献)  
の醸成について**

創生会  
こんどう はるお  
**近藤 治夫** 議員



**Q** 自治体のまちづくりの方針と基本的なルールを規定する自治基本条例の導入状況は、令和5年10月時点で全国で3道府県及び406市町村、愛知県内では20市町で施行されているが、市民との協働やまちづくりの理念を明確に示すため、自治基本条例を制定しては。

**A** 本市は地域によって異なる課題を抱えているため、条例を制定しても実効性に疑問があると考えます。まずは、市民参加条例等市民がまちづくりに参加する手法を浸透させ、シビックプライドを醸成したうえで、市民が議論する機運を高めることが肝要であると考えます。

**Q** 持続可能な地域の発展は、市民の主導によって実現可能であり、市民が地域イベントの企画・運営を担うことで、地域社会の意識や活力が向上すると考える。学校・家庭・地域が一体となった住民主体のまちづくりを行うための市の取り組みは。

**A** 市内には、まちづくり推進協議会が9つあり、それぞれ、地域の特性を活かした活動を展開していただいている。

学校教育では、「稲沢の魅力を学び、稲沢を愛する心を育む」ことを掲げ、教育活動を行っている。今後とも地域コミュニティ組織活動への支援や

子どもたちの郷土愛を育んでいきたい。



## 会議録と本会議の様子を ご覧いただけます

稲沢市議会本会議の内容は、会議録として作成し、図書館や各市民センター内の図書室に配布し、皆さんに読んでいただけるようにしています。

また、会議録と本会議の録画映像は、市のホームページからパソコンやスマートフォンなどでご覧いただけます。

本会議の録画映像については、右記の二次元コードを読み取り、ご覧いただくこともできます。



## 聖火リレー 中学生派遣事業に参加

パリオリンピック聖火リレー中学生派遣事業に参加するため、4月12日から19日までの8日間、稲沢市の姉妹都市であるギリシャ共和国オリンピア市へ六鹿議長が派遣団の副団長として派遣されました。

派遣団の皆さんとともに、現地の方々との交流を通じ、両市の絆を深めました。



聖火リレー



オリンピア市役所表敬訪問

## 次回の定例会は 9月9日(月)開会

### 質疑・一般質問

- ・9月12日(木)
- ・9月13日(金)
- ・9月17日(火)
- ・9月18日(水)(予備日)

### 常任委員会

- ・9月19日(木) 総務委員会
- ・9月20日(金) 文教厚生委員会
- ・9月24日(火) 経済建設委員会

### 閉会

- ・9月30日(月)

※各日とも午前9時30分から開会します。日程の詳細は市議会ホームページに掲載しております。傍聴もできますので、お気軽にお越しください。(審議の妨げとならないように、携帯電話の電源を切り、お静かに傍聴していただきますようお願いいたします。)日程は変更する場合がありますので、議会事務局までお問合せください。

次回の議会だよりは令和6年11月発行予定です。

発行／稲沢市議会  
編集／広報広聴委員会  
〒492-8269 稲沢市稲府町1  
TEL 0587-32-1459 / FAX 0587-32-1124

※本誌は全ページUDフォントを使用しています。